

資料3

第2回住まいの協議会

平成24年2月2日

市役所本庁舎地下2階2号会議室

# 減免制度の現状と課題

札幌市都市局市街地整備部  
住宅課(住宅管理担当)

## 目 次

諮問の背景	1
課題と検討事項	2
分位ごと・減免対象世帯の年収一覧	3
家賃算定基礎額の考え方	4
収入分位ごとの平均総収入・家賃負担率等	5
減免世帯の区分ごとの平均総収入・家賃負担率等	6
減免率80%世帯の収入・人数別グラフ	7
分位ごとの本来家賃及び減免後の家賃例	8
生活保護費の月収換算	9
最低負担額の考え方	10
高齢者控除廃止の影響	11
効果額の試算	13
医療費控除について	16
滞納整理事務の概要	17

## 諮問の背景

### 1. 市営住宅使用料における減免額が年々増加し、本市の財政を圧迫していること

- 平成14年度に約8億4千万円であった減免額が、景気の低迷や高齢化の進展により増加を続け、平成22年度には約14億円となり、8年間で約5億6千万円の歳入減となった。
- また、本来徴収すべき使用料(減免前調定額)に占める減免額の割合も平成14年度の11.85%から平成22年度は18.70%と、6.85ポイントの増加となった。
- 使用料総額に占める減免額の割合は政令市平均(13.4%)を大きく上回り、政令市中第3位の高率となっている。

### 2. 増大する市営住宅の修繕費や建替え費用の財源の確保が必要となっていること

- 本市の市営住宅は、建設から30年以上(竣工年度が昭和55年以前)を経過している建物(11,074戸)が、全戸数(27,518戸)の40.2%を占めている。



## 札幌市行財政改革推進プランの策定

市営住宅使用料の減免制度の見直し ⇒ 減免率を政令市平均並み

## 課題と検討事項

### 1. 減免基準額の見直し

現行の基準額(72,000円)は平成13年度の4人世帯の生活保護費がベースとなっているが、その後見直しがされていない。

### 2. 負担率・負担率区分の見直し

現行では本来家賃に対する負担率は90%から20%までの6区分となっているが、減免世帯の7割を超える世帯が負担率20%以下となっている。

### 3. 最低負担額の見直し

現行の最低負担額(3,500円)は、近傍同種家賃に占める修繕費の割合が最も低い団地の修繕費相当額として設定したが、設定の根拠は現行通りで妥当か。

### 4. 各種控除等の見直し

税法上廃止となった老年者控除について、現在も適用を続けている。また、医療費など、控除額が適正に把握できない場合がある。



市営住宅入居者と低額所得者でありながら市営住宅に入居できない市民との公平性の確保の観点及び市営住宅に入居することによる受益と、コストに見合った適正な負担の観点から、改めて減免制度のあり方について検討し、現行制度のうち特に上記項目について抜本的な見直しが必要。

## 分位ごとの年収一覧

収入分位(%)	政令月収(円)	家賃算定 基礎額 (円)	上限の年収(万円)						
			1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	高齢单身	高齢夫婦	
1	0~10	~104,000	34,400	204	258	313	366	244	292
2	10~15	104,001 ~ 123,000	39,700	237	291	345	395	267	315
3	15~20	123,001 ~ 139,000	45,400	264	318	371	419	286	336
4	20~25	139,001 ~ 158,000	51,200	297	351	400	447	309	366
5	25~32.5	158,001 ~ 186,000	58,500	345	394	442	489	347	411
6	32.5~40	186,001 ~ 214,000	67,500	389	436	484	531	392	450
7	40~50	214,001 ~ 259,000	79,000	456	503	551	599	458	514
8	50~	259,001~	91,100						

### 【高額所得者】

収入分位(%)	政令月収(円)	家賃算定 基礎額 (円)	下限の年収(万円)					
			1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	高齢单身	高齢夫婦
60%~	313,001~		537	585	632	677	534	590

金額は、収入のある者が1人の場合のおよその目安を記載したもの

## 減免対象世帯の年収一覧

収入分位	減免月収(円)	減免率 (%)	上限の年収(万円)					
			1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	高齢单身	高齢夫婦
1	~18,000	80	86	124	162	219	136	(297)
	18,001 ~ 27,000	70	97	135	180	235	147	(312)
	27,001 ~ 36,000	60	108	146	196	250	158	(328)
	36,001 ~ 45,000	40	119	157	211	265	173	(343)
	45,001 ~ 54,000	20	129	171	227	281	189	(359)
	54,001 ~ 72,000	10	151	203	257	312	220	(389)
								274

※1 減免世帯は1分位に限らないが、便宜上1分位内での分類とした。

※2 高齢夫婦の上段( )の数値は夫婦それぞれに収入がある場合の上限値(+115万円)  
(どちらか1名の収入について、115万円までは減免計算上、収入が0円となるため)

夫 年金収入 1,820,000円の場合  
 所得控除 726,000円  
 親族控除 380,000円  
 高齢者控除 500,000円  
 (80%減免)  
 減免収入 214,000円 ÷ 12 = 17,833円

妻 年金収入 1,150,000円の場合  
 所得控除 650,000円  
 高齢者控除 500,000円  
 減免収入 0円

## 家賃算定基礎額の考え方

収入分位 (%)	政令月収 (円)	粗収入(年間)		中間 粗収入 (A) (万円)	家賃 負担率 (B) (%)	家賃算定基礎額 (A)×(B)/12 (円)	
		下限値 (万円)	上限値 (万円)				
1	0~10	~104,000	259	292	275.5	15.0	34,400
2	10~15	104,001 ~ 123,000	292	324	308	15.5	39,700
3	15~20	123,001 ~ 139,000	324	357	340.5	16.0	45,400
4	20~25	139,001 ~ 158,000	357	389	373	16.5	51,200
5	25~32.5	158,001 ~ 186,000	389	438	413.5	17.0	58,500
6	32.5~40	186,001 ~ 214,000	438	489	463.5	17.5	67,500
7	40~50	214,001 ~ 259,000	489	565	527	18.0	79,000
8	50~	259,001~	565	650	607.5		91,100

※ 粗収入(年間)について、収入1分位(0~10%)の**下限値は標準3人世帯の生活保護基準額**、収入8分位(50%超)の上限額は収入60%の粗収入。

### 家賃負担率の設定根拠

**1分位の負担率 15%**



平成7年の住宅宅地審議会で示された  
「住居費支出率」を参考として設定

**7・8分位の負担率 18%**



平成8年当時の  
「特定優良賃貸住宅の家賃負担率」

## 収入分位ごとの平均入居者数・総収入・家賃・負担率等

訂正版

収入分位		政令月収	世帯数	割合	平均入居者数	平均総収入	家賃算定基礎額	平均家賃	最低家賃	最高家賃	平均近傍同種家賃
(%)		(円)		(%)		(円)	※負担率(%) (円)	※負担率(%) (円)	※負担率(%) (円)	※負担率(%) (円)	※負担率(%) (円)
1	0～10	～ 104,000	20,289	81.0	2.00	1,535,468	(26.9) 34,400	(15.0) 19,138	(0.0) 0	(32.4) 41,500	(39.5) 50,489
2	10～15	104,001 ～ 123,000	1,007	4.0	2.46	3,606,756	(13.2) 39,700	(8.6) 25,806	(2.2) 6,570	(15.8) 47,500	(17.5) 52,667
3	15～20	123,001 ～ 139,000	735	2.9	2.52	3,868,719	(14.1) 45,400	(8.9) 28,712	(3.6) 11,600	(16.4) 52,800	(16.3) 52,586
4	20～25	139,001 ～ 158,000	675	2.7	2.62	4,241,052	(14.5) 51,200	(9.1) 32,262	(3.6) 12,700	(16.4) 58,100	(14.8) 52,443
5	25～32.5	158,001 ～ 186,000	737	2.9	2.67	4,606,067	(15.2) 58,500	(9.5) 36,419	(3.9) 15,100	(17.3) 66,300	(13.8) 53,156
6	32.5～40	186,001 ～ 214,000	480	1.9	2.73	5,122,005	(15.8) 67,500	(9.9) 42,230	(3.5) 14,800	(23.7) 101,200	(12.1) 51,582
7	40～50	214,001 ～ 259,000	455	1.8	2.72	5,694,077	(16.6) 79,000	(9.8) 46,518	(3.9) 18,500	(20.0) 94,900	(10.7) 50,715
8	50～	259,001 ～	527	2.1	2.94	7,342,397	(14.9) 91,100	(8.0) 48,790	(3.4) 20,600	(16.7) 101,900	(8.3) 50,512
0	収入未申告世帯		156	0.6	2.77	3,918,130	-	(13.5) 44,004	(6.0) 19,500	(25.9) 84,700	(13.6) 44,321
合計(平均)			25,061	100.0	2.12	2,131,441	-	(12.5) 22,266	-	-	(28.6) 50,756

※負担率は平均総収入に対する家賃負担率(家賃×12か月／平均総収入)

## 減免世帯の区分ごとの平均入居者数・総収入・家賃・負担率等

※1 収入が全く無い場合

※2 負担率は平均総収入に対する家賃負担率(家賃×12か月／平均総収入)

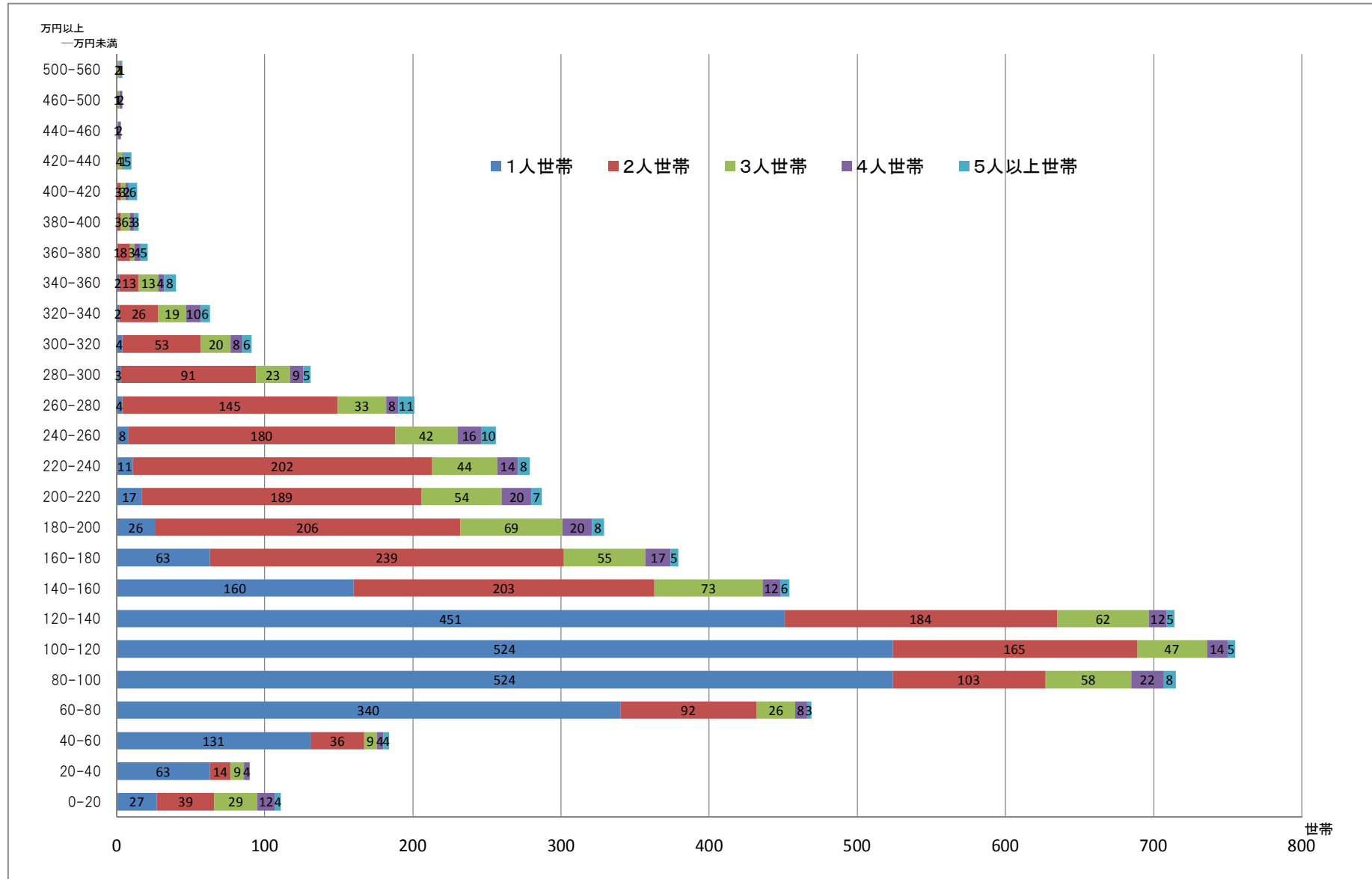
減免月収	減免率	家賃負担率	世帯数	割合	平均入居者数	平均総収入	平均家賃	最低家賃	最高家賃	平均近傍同種家賃
(円)	(%)	(%)		(%)		(円)	(※2)負担率(%) (円)	(※2)負担率(%) (円)	(※2)負担率(%) (円)	(※2)負担率(%) (円)
0(※1)	100	0(免除)	244	3.1	1.80	0	0	0	0	53,732
0 ~ 18,000	80	20	5,619	71.7	1.86	1,520,902	(3.6) 4,580	(2.8) 3,500	(7.2) 9,100	(42.2) 53,459
18,001 ~ 27,000	70	30	506	6.5	1.66	1,880,082	(4.3) 6,813	(2.2) 3,500	(7.9) 12,390	(35.2) 55,112
27,001 ~ 36,000	60	40	442	5.6	1.75	1,991,507	(5.3) 8,844	(2.1) 3,500	(9.9) 16,480	(32.5) 53,962
36,001 ~ 45,000	40	60	444	5.7	1.73	2,139,244	(7.6) 13,554	(2.7) 4,790	(12.7) 22,680	(31.2) 55,569
45,001 ~ 54,000	20	80	278	3.5	1.74	2,249,650	(9.7) 18,206	(3.6) 6,800	(16.7) 31,360	(29.8) 55,805
54,001 ~ 72,000	10	90	307	3.9	1.80	2,383,088	(10.5) 20,849	(3.9) 7,830	(18.7) 37,080	(28.0) 55,525
合計(平均)			7,840	100.0	1.83	1,618,235	(4.8) 6,450	0	(27.5) 37,080	(40.0) 53,886

《参考》

減免対象以外の1分位の世帯	12,861	—	2.10	1,688,078	(15.6) 21,887	(5.8) 8,100	(29.4) 41,300	(37.4) 52,584
---------------	--------	---	------	-----------	------------------	----------------	------------------	------------------



## 減免率80%以上の世帯の収入・人数別世帯数



## 分位ごとの本来家賃及び減免後の家賃例

- 市町村立地係数                      札幌市は1.00
- 規模係数                              床面積の合計 ÷ 65 m<sup>2</sup>
- 経過年数係数                      1 - 0.0039 × 経過年数(ただしH16.10以前に管理開始の場合は旧係数を使用)
- 利便性係数                           立地条件・設備・住環境等を勘案して設定

全市の近傍同種家賃の平均額      49,545円

入居全世界帯の平均家賃(減免後)      20,068円

団地名	収入分位	家賃算定基礎額	竣工平成20年			経過年数 3年			本来家賃	近傍同種家賃 123,400円		
			市町村立地係	規模係数	経過年数係	利便性係数	減免率	家賃負担率		減免後の家賃		
幌北	1	34,400	1.0000	1.1000	0.9883	1.0496	39,200	80	20	7,800		
	2	39,700					45,200	70	30	11,700		
	3	45,400					51,800	60	40	15,600		
	4	51,200					58,400	40	60	23,500		
	5	58,500					66,700	20	80	31,300		
	6	67,500					77,000	10	90	35,200		

団地名	収入分位	家賃算定基礎額	竣工平成22年			経過年数 21年			本来家賃	近傍同種家賃 47,300円		
			市町村立地係	規模係数	経過年数係	利便性係数	減免率	家賃負担率		減免後の家賃		
藤野	1	34,400	1.0000	1.0800	0.8404	0.7770	24,200	80	20	4,800		
	2	39,700					27,900	70	30	7,200		
	3	45,400					32,000	60	40	9,600		
	4	51,200					36,100	40	60	14,500		
	5	58,500					41,200	20	80	19,300		
	6	67,500					47,600	10	90	21,700		

団地名	収入分位	家賃算定基礎額	竣工昭和54年			経過年数 32年			本来家賃	近傍同種家賃 45,900円		
			市町村立地係	規模係数	経過年数係	利便性係数	減免率	家賃負担率		減免後の家賃		
光星	1	34,400	1.0000	0.8707	0.7150	1.0639	22,700	80	20	4,500		
	2	39,700					26,200	70	30	6,800		
	3	45,400					30,000	60	40	9,000		
	4	51,200					33,900	40	60	13,600		
	5	58,500					38,700	20	80	18,100		
	6	67,500					44,700	10	90	20,400		

団地名	収入分位	家賃算定基礎額	竣工昭和48年			経過年数 38年			本来家賃	近傍同種家賃 27,100円		
			市町村立地係	規模係数	経過年数係	利便性係数	減免率	家賃負担率		減免後の家賃		
もみじ台	1	34,400	1.0000	0.7523	0.6466	0.8698	14,500	80	20	(2,900)		
	2	39,700					16,700	70	30	4,300		
	3	45,400					19,200	60	40	5,800		
	4	51,200					21,600	40	60	8,700		
	5	58,500					24,700	20	80	11,600		
	6	67,500					28,500	10	90	13,000		

最低負担額を適用

本来家賃が17,500円以下の場合、最低負担額が適用される場合が生じる。 ⇒ 17,500円 × 20% = 3,500円

## 生活保護費の公営住宅法施行令による月収換算

単位:円

	14年度	17年度	23年度(2・4人世帯)				23年度(3人世帯)					
			2-A	2-B	2'-A	2'-B	4-A	4-B	3-A	3-B	標準3人世帯A	標準3人世帯B
世帯構成	35歳(男) 30歳(女) 9歳(子) 4歳(子)	35歳(男) 30歳(女) 9歳(子) 4歳(子)	35歳(男) 30歳(女)		70歳(男) 65歳(女)		35歳(男) 30歳(女) 9歳(子) 4歳(子)		35歳(男) 30歳(女) 9歳(子)		33歳(男) 29歳(女) 4歳(子)	
生活扶助(夏季)4~10月	199,370	194,610	122,830	122,830	111,510	111,510	180,569	180,569	160,350	160,350	152,970	152,970
生活扶助(冬季)11~3月	240,580	235,360	152,940	152,940	141,620	141,620	221,319	221,319	196,290	196,290	188,910	188,910
期末一時扶助	—	—	—	27,080	—	27,080	—	54,160	—	40,620	—	40,620
住宅扶助	44,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000
年額総計	3,126,490	3,091,070	2,176,510	2,203,590	2,040,670	2,067,750	2,922,578	2,976,738	2,655,900	2,696,520	2,567,340	2,607,960
A 給与所得換算	2,006,800	1,981,600	1,343,200	1,360,000	1,248,000	1,264,800	1,864,000	1,903,200	1,676,400	1,707,200	1,614,800	1,642,800
B 親族控除	1,140,000	1,140,000	380,000	380,000	380,000	380,000	1,140,000	1,140,000	760,000	760,000	760,000	760,000
C その他控除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政令月収換算 A - (控除合計) / 12	72,233	70,133	80,267	81,667	72,333	73,733	60,333	63,600	76,367	78,933	71,233	73,567
減免基準額	72,000	→	80,000	81,000	72,000	73,000	60,000	63,000	76,000	78,000	71,000	73,000

### 生活保護制度における標準世帯

~昭和35年 標準5人世帯

64歳 男  
35歳 女  
9歳 男  
5歳 女  
1歳 男



昭和36年~ 標準4人世帯

35歳 男  
30歳 女  
9歳 男  
4歳 女



昭和61年~ 標準3人世帯

33歳 男  
29歳 女  
4歳 子

# 最低負担額の考え方

市営住宅の維持管理に最低限必要な財源の確保の観点  
(平成17年導入時)

近傍同種家賃に占める修繕費の割合が  
一番低い団地の修繕費割合  
×  
当該団地の1分位の平均家賃

近傍同種家賃(政令・省令・告示等で以下の項目の算定方法・率等を規定)

- ・近傍同種の住宅の複成価格×1年あたりの利回り
- ・償却額
- ・修繕費
- ・管理事務費
- ・損害保険料
- ・貸倒れ・空家損失補てん等引当金
- ・公課

合計 ÷ 12

近傍同種家賃に占める  
修繕費の割合が  
最も低い団地  
15.91%

×

当該団地の1分位の  
平均家賃  
22,144円

= 3,519円

≒ 3,500円

修繕費の割合について、  
現行のまま良いか？

現在の数値を適用した場合

近傍同種家賃に占める  
修繕費の割合が  
最も低い団地  
14.47%

×

当該団地の1分位の  
平均家賃  
22,442円

= 3,247円

市内平均の数値を適用した場合

近傍同種家賃に占める  
修繕費の割合  
全市平均  
18.98%

×

全市の1分位の  
平均家賃  
22,022円

= 4,179円

# 高齢者控除廃止の影響

高齢者控除とは…

対象者 → 年収1千万円以下で65歳以上の高齢者

控除額 → 50万円

平成17年分から廃止となった

廃止した場合の効果額(年額、H23.4現在の試算) ⇒ **3.0億円**

## 家賃上昇額

上昇額	減免対象全世帯		高齢者控除適用世帯のみ	
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)
～10,000円	2,093	26.7	2,093	44.7
～20,000円	855	10.9	855	18.3
～30,000円	149	1.9	149	3.2
～40,000円	2	0.0	2	0.0
影響あり	3,099	39.5	3,099	66.2
影響なし	4,741	60.5	1,582	33.8
全世帯	7,840	100.0	4,681	100.0

## 家賃上昇率

上昇額	減免対象全世帯		高齢者控除適用世帯のみ	
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)
1倍超～2倍以下	1,690	21.6	1,690	36.1
2倍超～3倍以下	654	8.3	654	14.0
3倍超～4倍以下	370	4.7	370	7.9
4倍超～5倍以下	385	4.9	385	8.2
影響あり	3,099	39.5	3,099	66.2
影響なし	4,741	60.5	1,582	33.8
全世帯	7,840	100.0	4,681	100.0

家賃が2倍を超える世帯

↓  
1,409世帯

家賃が3倍を超える世帯

↓  
755世帯

高齢者控除適用世帯 → 4,681世帯  
(減免世帯の59.7%)

円/月

改正前平均家賃	6,449
改正後平均家賃	9,667
平均上昇額	3,218
最大上昇額	31,850

3,218円は影響のない世帯を含んだ平均上昇額

影響のある世帯のみの平均上昇額 ⇒ **8,139円**

**年間382,200円の負担増**

# 高齢者控除廃止の影響を少なくするには

所得の計算方法を変更した場合の効果額(年額、H23.4現在の試算) ⇒ **-3.0億円**

前ページの高齢者控除廃止の効果額3.0億円と相殺される。

↓  
高齢者世帯のみの過大な負担は生じない

## 年金収入の場合(65歳以上)

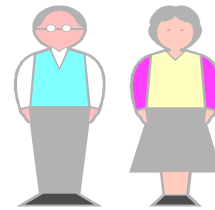
公的年金等の収入金額		所得金額	
330万円未満	収入		<b>- 120万円</b>
330万円以上 410万円未満	収入 × 0.75		- 37.5万円
410万円以上 770万円未満	収入 × 0.85		- 78.5万円

## 給与収入の場合

給与の収入金額		所得金額	
162.5万円未満	収入		<b>- 65万円</b>
162.5万円以上 180万円未満	収入 × 0.6		
180万円以上 360万円未満	収入 × 0.7		- 18万円
360万円以上 660万円未満	収入 × 0.8		- 54万円

55万円の差

## 高齢者控除対象世帯のイメージ



夫 70歳 年金収入 160万円  
妻 65歳 給与収入 80万円  
世帯収入 240万円

政令月収 14,166円  
減免月収 5,833円

本来家賃 30,000円  
減免後の家賃 6,000円

### 《本来家賃》

家族構成	収入	所得計算	所得	控除額	控除種別	月収	政令月収減免月収(円)	分位減免割合	家賃(円)
夫	160 (年金)	160-120	40	38	親族	17			本来家賃
妻	80 (給与)	80-65	15						
合計	240		55	38		17	14,166	1分位	30,000

### 《減免後の家賃》

夫	160 (年金)	160-65	95	50+38	老年・親族	7			20%負担
妻	80 (給与)	80-65	15	15	老年	0			
合計	240		110	103		7	5,833	80%	6,000

### 《高齢者控除を廃止した場合の家賃》

夫	160 (年金)	160-65	95	38	親族	72			90%負担
妻	80 (給与)	80-65	15						
合計	240		110	38		72	60,000	10%	27,000

### 《所得計算方法を変更した場合の家賃》

夫	160 (年金)	160-120	40	38	親族	17			20%負担
妻	80 (給与)	80-65	15						
合計	240		55	38		17	14,166	80%	6,000

4.5倍

## 現行の減免制度

年金収入も給与収入も給与とみなし、給与の所得控除を適用

## 廃止の影響を最小にするには...

年金・給与それぞれの所得控除を適用

# 効果額の試算1

## 最低負担額3,500円の場合

	改正前(A-1)		A-2		A-3		A-4		A-5		A-6		A-7	
	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率
負担率区分	72,000	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	54,000	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45,000	60	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90
	36,000	40	49,700	80	56,800	80	49,700	80	42,600	60	42,600	60	56,800	80
	27,000	30	35,500	50	35,500	50	35,500	50	28,400	50	28,400	50	42,600	60
	18,000	20	21,300	30	21,300	30	21,300	40	14,200	30	14,200	40	28,400	40
最低負担額	3,500		3,500		3,500		3,500		3,500		3,500		3,500	
最高上昇額/月	—		15,120		15,120		15,120		13,650		13,650		9,100	
家賃上昇世帯数	—		6,790		6,646		7,149		6,799		6,998		6,665	
平均上昇額/月(※4)	—		2,422		2,413		4,057		2,854		4,360		4,062	
最高家賃	37,080		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200	
平均家賃	6,450		8,547		8,495		10,149		8,925		10,341		9,903	
平均家賃上昇額	—		2,097		2,045		3,699		2,475		3,891		3,453	
効果額/年	—		197,335,200		192,446,160		348,013,920		232,863,000		366,113,880		324,869,280	

単位 月収額:円 負担率:%

金額(円)	割合(%)
71,000	100
63,900	90
56,800	80
49,700	70
42,600	60
35,500	50
28,400	40
21,300	30
14,200	20
7,100	10

## 最低負担額5,000円の場合

	B-1		B-2		B-3		B-4		B-5		B-6		B-7	
	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率
負担率区分	72,000	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	54,000	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45,000	60	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90
	36,000	40	49,700	80	56,800	80	49,700	80	42,600	60	42,600	60	56,800	80
	27,000	30	35,500	50	35,500	50	35,500	50	28,400	50	28,400	50	42,600	60
	18,000	20	21,300	30	21,300	30	21,300	40	14,200	30	14,200	40	28,400	40
最低負担額	5,000		5,000		5,000		5,000		5,000		5,000		5,000	
最高上昇額/月	1,500		15,120		15,120		15,120		13,650		13,650		9,100	
家賃上昇世帯数	3,988		7,060		6,916		7,180		7,027		7,027		6,701	
平均上昇額/月(※4)	1,037		2,503		2,496		4,076		2,917		4,376		4,082	
最高家賃	37,080		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200	
平均家賃	6,977		8,703		8,651		10,183		9,064		10,372		9,938	
平均家賃上昇額	527		2,253		2,201		3,733		2,614		3,922		3,488	
効果額/年	49,635,720		212,025,240		207,136,200		351,200,640		245,954,640		369,003,720		328,218,240	

※1 調査対象:7,840世帯

※2 所得計算は給与所得控除を適用

※3 老年者控除は現行通り適用

※4 平均上昇額は増額世帯のみの上昇額

## 効果額の試算2

### 最低負担額7,000円の場合

	C-1		C-2		C-3		C-4		C-5		C-6		C-7	
	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率
負担率区分	72,000	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	54,000	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45,000	60	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90
	36,000	40	49,700	80	56,800	80	49,700	80	42,600	60	42,600	60	56,800	80
	27,000	30	35,500	50	35,500	50	35,500	50	28,400	50	28,400	50	42,600	60
	18,000	20	21,300	30	21,300	30	21,300	40	14,200	30	14,200	40	28,400	40
最低負担額	7,000		7,000		7,000		7,000		7,000		7,000		7,000	
最高上昇額/月	3,500		15,120		15,120		15,120		13,650		13,650		9,100	
家賃上昇世帯数	5,874		7,107		6,964		7,180		7,038		7,038		6,721	
平均上昇額/月(※4)	2,439		3,157		3,164		4,370		3,528		4,646		4,392	
最高家賃	37,080		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200	
平均家賃	8,277		9,312		9,260		10,452		9,616		10,620		10,215	
平均家賃上昇額	1,827		2,862		2,810		4,002		3,166		4,170		3,765	
効果額/年	171,907,920		269,271,720		264,385,080		376,498,920		297,922,080		392,350,200		354,246,360	

単位 月収額:円 負担率:%

### 最低負担額10,000円の場合

	D-1		D-2		D-3		D-4		D-5		D-6		D-7	
	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率
負担率区分	72,000	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	54,000	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	45,000	60	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90	71,000	90
	36,000	40	49,700	80	56,800	80	49,700	80	42,600	60	42,600	60	56,800	80
	27,000	30	35,500	50	35,500	50	35,500	50	28,400	50	28,400	50	42,600	60
	18,000	20	21,300	30	21,300	30	21,300	40	14,200	30	14,200	40	28,400	40
最低負担額	10,000		10,000		10,000		10,000		10,000		10,000		10,000	
最高上昇額/月	6,500		15,120		15,120		15,120		13,650		13,650		9,100	
家賃上昇世帯数	6,522		7,187		7,053		7,197		7,097		7,097		6,823	
平均上昇額/月(※4)	5,074		5,146		5,187		5,585		5,391		5,785		5,649	
最高家賃	37,080		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200		41,200	
平均家賃	10,671		11,167		11,116		11,576		11,330		11,687		11,366	
平均家賃上昇額	4,221		4,717		4,666		5,126		4,880		5,237		4,916	
効果額/年	397,134,720		443,790,000		439,006,680		482,312,760		459,147,000		492,699,840		462,557,760	

金額(円)	割合(%)
71,000	100
63,900	90
56,800	80
49,700	70
42,600	60
35,500	50
28,400	40
21,300	30
14,200	20
7,100	10

※1 調査対象:7,840世帯

※2 所得計算は給与所得控除を適用

※3 高齢者控除は現行通り適用

※4 平均上昇額は増額世帯の上昇額



## 上昇額・上昇率の状況

単位 月収額:円 負担率:%

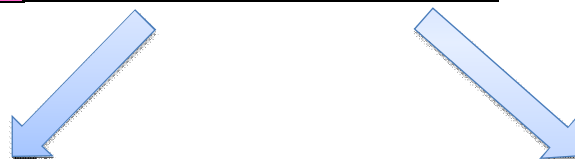
	改正前(A-1)		B-2		B-4	
	月収額	負担率	月収額	負担率	月収額	負担率
負担率区分	72,000	90	—	—	—	—
	54,000	80	—	—	—	—
	45,000	60	71,000	90	71,000	90
	36,000	40	49,700	80	49,700	80
	27,000	30	35,500	50	35,500	50
	18,000	20	21,300	30	21,300	40
最低負担額	3,500		5,000		5,000	
最高上昇額/月	—		15,120		15,120	
家賃上昇世帯数	—		7,060		7,180	
平均上昇額/月(※4)	—		2,503		4,076	
最高家賃	37,080		41,200		41,200	
平均家賃	6,450		8,703		10,183	
平均家賃上昇額	—		2,253		3,733	
効果額/年	—		212,025,240		351,200,640	

※1 調査対象:7,840世帯

※2 所得計算は給与所得控除を適用

※3 老年者控除は現行通り適用

※4 平均上昇額は増額世帯のみの上昇額



### B-2

上昇額	世帯数	割合
~5,000	6,758	86.2%
~10,000	296	3.8%
~20,000	6	0.1%
~30,000	0	0.0%
~40,000	0	0.0%
影響あり	7,060	90.1%
影響なし	780	9.9%
計	7,840	100.0%

上昇率	世帯数	割合
1.5倍未満	2,573	32.8%
1.5倍以上2倍未満	4,461	56.9%
2倍	26	0.3%
影響あり	7,060	90.1%
影響なし	780	9.9%
計	7,840	100.0%

### B-4

上昇額	世帯数	割合
~5,000	5,130	65.4%
~10,000	2,044	26.1%
~20,000	6	0.1%
~30,000	0	0.0%
~40,000	0	0.0%
影響あり	7,180	91.6%
影響なし	660	8.4%
計	7,840	100.0%

上昇率	世帯数	割合
1.5倍未満	1,815	23.2%
1.5倍以上2倍未満	1,228	15.7%
2倍	4,137	52.8%
影響あり	7,180	91.6%
影響なし	660	8.4%
計	7,840	100.0%

## 医療費控除について

### ◆家賃減免事務取扱要領 第3条第4項

医療費控除の対象となる金額は、過去1年間に支出した金額のうち自己負担による額とする。ただし、継続して支出した医療費については、特別な事情があると認められる場合に限り過去3年間の自己負担額から必要経費を控除した金額とする。

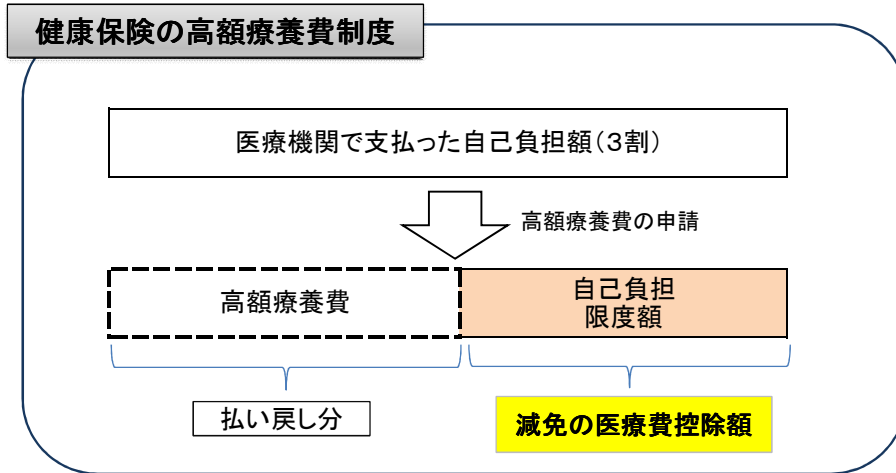
### 医療費控除の状況(H23.4)

- ・控除の件数 1,056件
- ・控除総額 180,018,553円
- ・平均控除額 170,472円 (14,206円/月)
- ・最大控除額 1,138,991円 (94,916円/月)
- ・最小控除額 1,700円 (142円/月)

### ■医療費控除額別件数

医療費控除額	件数	割合
1 ~ 100,000	445	42.1%
100,001 ~ 200,000	319	30.2%
200,001 ~ 300,000	131	12.4%
300,001 ~ 400,000	78	7.4%
400,001 ~ 500,000	32	3.0%
500,001 ~ 600,000	18	1.7%
600,001 ~ 700,000	9	0.9%
700,001 ~ 800,000	13	1.2%
800,001 ~ 900,000	3	0.3%
900,001 ~ 1,000,000	4	0.4%
1,000,001 ~ 1,100,000	3	0.3%
1,100,001 ~ 1,200,000	1	0.1%
合計	1,056	100.0%

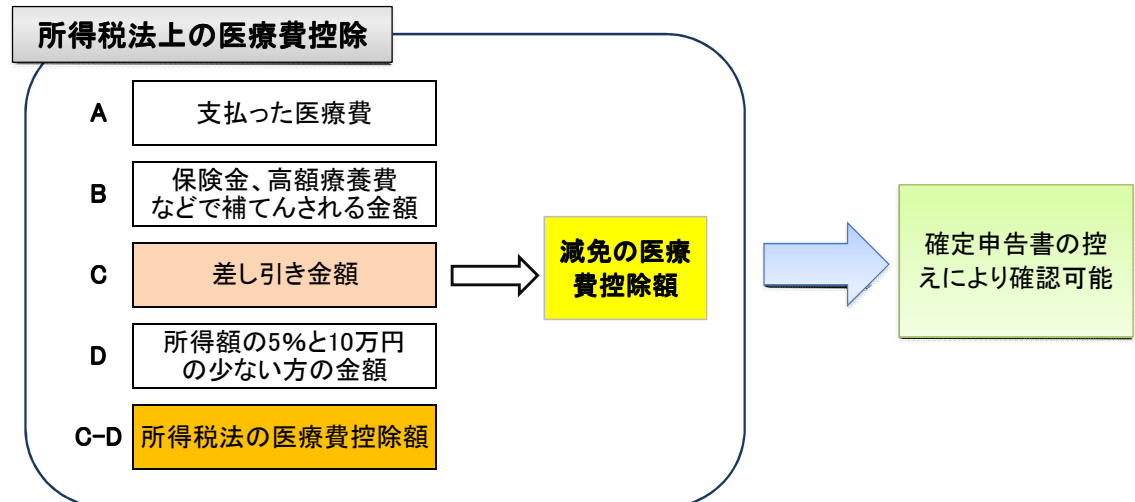
### 健康保険の高額療養費制度



- ・高額療養費の申請状況 ⇒ 聞き取りにより確認
- ・払い戻し状況 ⇒ 申告するよう指導

確認が困難

### 所得税法上の医療費控除



# 滞納整理事務の概要

## 1 収納率の推移

単位:円

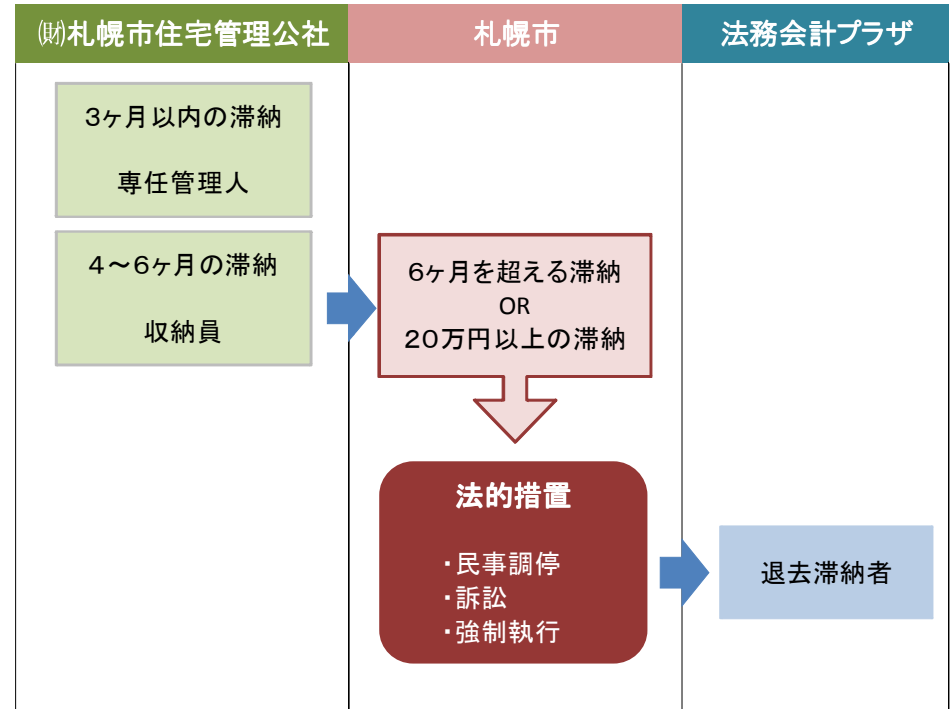
区分	年度	調定額	収入済額	収入未済額(不納欠損額を含む)	収納率(%)	不納欠損額
18	現年度	6,189,863,610	6,138,104,610	51,759,000	99.16	
	過年度	191,060,060	56,916,050	134,144,010	29.79	0
	計	6,380,923,670	6,195,020,660	185,903,010	97.09	0
19	現年度	6,227,040,680	6,164,873,310	62,167,370	99.00	
	過年度	192,745,050	50,231,950	142,513,100	26.06	0
	計	6,419,785,730	6,215,105,260	204,680,470	96.81	0
20	現年度	6,255,289,310	6,185,114,450	70,174,860	98.88	
	過年度	204,649,030	56,284,685	148,364,345	27.50	0
	計	6,459,938,340	6,241,399,135	218,539,205	96.62	0
21	現年度	6,175,923,790	6,113,662,270	62,261,520	98.99	
	過年度	218,490,705	54,758,620	163,732,085	25.06	0
	計	6,394,414,495	6,168,420,890	225,993,605	96.47	0
22	現年度	6,093,535,015	6,041,300,366	52,234,649	99.14	
	過年度	223,324,965	52,725,206	170,599,759	23.61	53,997,840
	計	6,316,859,980	6,094,025,572	222,834,408	96.47	53,997,840

平成23年度への繰越分 168,836,568円

## 2 法的措置の執行状況

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
民事調停	申立	60	68	83	71	59
	成立	43	51	61	44	41
	取下げ	5	7	5	9	8
	不成立	12	10	17	7	10
滞納訴訟	提訴	3	8	2	8	6
	判決	3	8	2	8	6
	取下げ	0	0	0	0	0
強制執行	申立	41	31	29	29	35
	執行	23	11	16	13	15
	取下げ	18	20	13	4	20

## 3 滞納整理事務の流れ



## 4 督促担当別の滞納世帯数

	世帯数	割合(%)
管理人	1,003	48.0
収納員	995	47.6
札幌市	93	4.4
計	2,091	100.0

滞納3ヶ月までの世帯 (Management staff)

滞納4~6ヶ月までの世帯 (Collector)

法的措置対象世帯 (Legal measures target households)